

【がん早期発見・早期治療キャンペーンプロジェクト『ひまわり』】 参画した高校生・大学生メンバー

それぞれの活動状況を共有するため最終報告会を開催 さらに厚労省や地元選出議員へもプロジェクト概況を報告

共催：  米国研究製薬工業協会 /  兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課

米国研究製薬工業協会(PhRMA)と兵庫県が、がん検診受診率を上げ、兵庫県におけるがん罹患率や死亡率の減少を目指して展開した「がんの早期発見・早期治療キャンペーンプロジェクト『ひまわり』」では、去る3月22日に同プロジェクトに参画した兵庫県に住む高校生・大学生らが神戸市に集まり、各メンバーがそれぞれの活動状況を共有する最終報告会を開催しました。またこれに続き、3月25日には、同プロジェクトの代表として大学生メンバー2名が上京し、厚生労働省健康局総務課がん対策推進室や、兵庫県選出議員らを訪問し、活動状況を報告しました。

同プロジェクトは、2009年5月30日に開催された「キックオフミーティング」を皮切りに開始された、がんの早期発見・早期治療におけるがん検診の重要性を訴える啓発活動です。以来ほぼ月1回のペースで検討会を開催し、がん検診の重要性を訴えるためには、どのような情報が必要かといった意見交換を重ね、高校生・大学生メンバーが自ら啓発用パンフレット『Hyo Go!がん検診!!～大切な人を守るために～』を制作し、2010年3月までの期間に、県内の多くの場所で配布活動を実施しました。

また同プロジェクトでは、自らががんを経験している患者さんや、がんを専門とする医師が、支援メンバーとして高校生・大学生メンバーをサポートし、配布活動においても、協力しました。

■活動報告■

<3月22日／最終報告会>

2009年12月5日に啓発用パンフレット『Hyo Go!がん検診!!～大切な人を守るために～』が完成して以来、その後3ヶ月間にわたり、県内各地において高校生・大学生メンバーによる配布活動を行いました。その活動状況および反応をメンバー同士で共有すべく「最終報告会」を開催しました。

高校生・大学生メンバーは、親や親戚・友人をはじめ、在籍学校、アルバイト先である飲食店、その他に近隣の教会、人の集まる観光スポット(相生市内のペーロン城)やYMCAなどでパンフレットを配布・設置し、自ら「がん検診の重要性」を訴えたことを報告しました。各メンバーより声掛けをした施設の責任者や担当者、また親や祖父母、友人からは「がんについて良く分かった」「がん検診に行くつもりだ」「検診の重要性が分かった」などといった反応を得ることが出来、高校生・大学生メンバーは『がん検診に行くことへの「きっかけ作りは出来た!』』と報告しました。

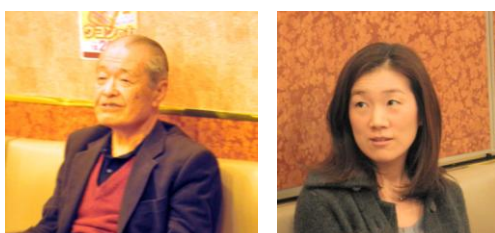


大学生メンバーにより
相生市「ペーロン城」にパンフレットを設置

また、患者団体では、兵庫県が患者団体と連携して行うがん対策推進員研修会やがん対策出前授業、がん予防市民講座を通じて、「がん検診の重要性」をアピールし、当初割り当てた2,000部は殆んど配布済みであることを報告しました。同時に医師メンバーは、大学で実施した市民講座で配布し、「がん検診の重要性」を訴えるなど活動を行っています。



大学生・高校生メンバー



ひょうごがん患者連絡会 田村美生夫氏と
西宮市立中央病院 林典子先生

なお、兵庫県では、各種団体等において、がん検診の普及啓発活動を行っているがん対策推進員を対象とする研修会やシンポジウム、健康イベント、その他関連企業等へパンフレットを配布し、兵庫県におけるがん罹患率や死亡率の減少を目指し、がんの早期発見・早期治療におけるがん検診の重要性を訴える啓発活動を継続しています。

本プロジェクト『ひまわり』の活動は、同最終報告会をもち一旦終了となります。しかし、このプロジェクトに参加した高校生・大学生メンバーは、本活動を通じて、各自、自らの「がんに対する知識向上」と自らが「がん検診受診の重要性を伝えていく」役割であることを深く理解しました。今後も家族や友人、周囲の人々へ「がん検診受診の重要性」を伝えていきます。

<3月25日「がんの早期発見・早期治療キャンペーンプロジェクト『ひまわり』活動報告>

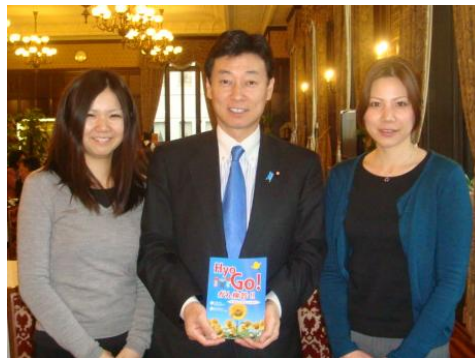
本プロジェクト『ひまわり』の最終報告会に続き、3月25日には、実際の活動メンバーとして、本プロジェクトに参画した高校生・大学生メンバーを代表して、大学生メンバーである谷山愛美さん、谷藍加さんが上京し、厚生労働省健康局総務課がん対策推進室長鈴木健彦氏ならびに兵庫県選出議員である衆議院議員西村康稔氏と、参議院議員足立信也氏政策担当秘書瀧田浩二氏へ、同プロジェクト『ひまわり』の活動報告をいたしました。

活動報告は、まず同プロジェクト主催者である、米国研究製薬工業協会予防医療委員会(小野一郎氏・松枝康雄氏)より、同予防医療委員会が取り組む予防医療推進の観点から、同プロジェクトを実施した意義を説明するとともに、都合で帯同できなかった兵庫県担当者に代わり、兵庫県の取り組み(各種団体等の指導者を育成するためのがん対策推進員研修会やひょうごがんシンポジウム、また各市で開催する健康イベント、その他関連企業等へパンフレットを配布する、など)を報告しました。



厚生労働省健康局総務課がん対策室長 鈴木健彦氏(中央)
大学生メンバー 谷山愛美氏 谷藍加氏

続いて、大学生メンバー2名から同プロジェクトへの参画の経緯や「自分達が一番伝えたいことは何かを何度も討議し、キーメッセージを“大切な人を守るために”と掲げた」、「実際に検診センターへ行き検診機材に触れるなど、自らの目で確認した」など、同プロジェクトを進める上でのエピソードについても説明しました。



衆議院議員 西村康稔氏へ活動報告



最後に、本活動を通じて少しずつでも兵庫県民の「がん検診を受診」する人が増えることを願うと、抱負を話しました。

この日の活動報告を受けた方々からは、『「子の世代から、がんにかかるリスクが高くなる親世代」への働きかけ、促進』は必要なことであり、またがん検診受診率の向上を図るには、今後様々な工夫を凝らしたパンフレットの活用方法が重大な鍵であると、意見をいただきました。



参議院議員足立信也氏政策担当秘書
瀧田浩二氏へ活動報告

■今後の予定■

兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課では、好評によりパンフレット『Hyo Go!がん検診!!～大切な人を守るために～』を50,000部増刷しました。平成22年度以降、がん検診受診率向上推進協定を締結する企業や、県・市町等が実施するイベント、また窓口等にも配布する予定です。

<協力>患者会:ひょうごがん患者連絡会(中原武志氏、田村美生夫氏)

医療従事者:兵庫県立がんセンター(里内美弥子先生、須藤保先生、服部剛弘先生)、兵庫医科大学(柳本富士雄先生)、西宮市立中央病院(林典子先生)

兵庫県健康福祉部、米国研究製薬工業協会予防医療委員会

<発行/お問い合わせ>「がん予防啓発プログラム」ひまわり事務局(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

〒104-0031 東京都中央区京橋2-18-1 明海京橋ビル2F

TEL 03-5159-7750 FAX 03-5159-7760 E-Mail sunflower.jimu@gmail.com